

重点要望事項

1. 来年度は第二次総合戦略のスタート年度であり、観光・まちづくり等については将来の松江のまちを決定づける大切な一年である。これを実現するために既存の考え方を超えた体制整備と大胆な予算措置に取り組まれない。
2. 山陰地方の将来を左右する山陰新幹線・伯備新幹線の実現のため、整備計画への格上げに向け来年度が山場である。松政クラブもしっかりと要望してまいります。官民一体となった運動として、より一層の前進を図られたい。
3. 境港出雲道路の事業推進、松江北道路の早期着工、国道 431 号・432 号、及び主要地方道松江木次線、揖屋馬潟線などの事業の早期完成に向けて県と積極的に進められたい。

4. 近年頻発する大災害から市民の生命・財産・生活を守るため、現在計画策定中の国土強靱化地域計画を速やかに策定し、大規模災害に一刻も早く、ハード・ソフト両面に対応されたい。
5. 大橋川改修事業の早急な推進を図るとともに、住民・関係団体等の意見を重要視し、景観と利活用を合わせた護岸整備や、より具体的な事業を進められたい。
6. 中核市となり、職員の人材育成は喫緊の課題である。人材育成基本方針の策定、必要な研修の受講、中央省庁や先進自治体の職員との政策協議及び交流促進を行っていくなど、必要な予算を確保され人材育成に積極的に取り組まれたい。
7. 小学校の教育においては、教員の資質の向上及び児童生徒の学力の向上、ふるさと教育や自己肯定感の熟成、自発的に挑戦できる環境づくり、ICT機器の整備及

び活用等、松江の未来を担う子どもたちの教育に、より一層の充実を図られたい。

8. 健康寿命を延伸するため壮年期から高齢期までの介護
予防事業に力点を置いた施策の展開を図られたい。

【総務関係】

1. 社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金の拡充を求め、道路・港湾・河川・地滑り対策等の事業の充実に努められたい。また、市への直接配分の交付申請に努力されるとともに、事業の平準化に対処されたい。
2. 全市のまちづくりのために、都市計画税の廃止等を検討し、固定資産税と一元化するなど、区域、区分を問わず負担の公平性の観点から税制が進むよう取り組まれたい。
3. タクシーの営業圏域規制の緩和に伴い、タクシーを公共交通の補完として利用できる政策に取り組まれたい。
4. 公共施設適正化計画は、合理的かつ市民合意のもとで丁寧に取り組み成果を出すとともに、新たに、テルサやスティックビル、プラバホールなどの大型施設についても、将来のまちづくりに資する活性化策を（統合や新設も視

野に入れ) 総合的に検討されたい。

5. 現行過疎法の期限(令和3年3月末)以降も、引き続き過疎対策を講じていくために、現行の過疎法の継続が必要である。実現に向け、国に対して要望活動を行われたい。
6. 国体開催(令和11年度)に向け、国体の開会式、閉会式の開催、各種競技の受け入れに向け、施設の計画的な整備を行うとともに、必要な財源措置について、国や県へ要望されたい。
7. スポーツを生かしたまちづくりを進めるため、スポーツコミッションをはじめとした組織体制の構築に向けて、調査研究等を進められたい。また、先進事業である松江城国宝マラソンをモデル事業として具体的かつ確実に事業実施を行われたい。

【福祉・教育関係】

1. 地域との協働・共創を進めるためにも、地区社協の活動は重要である。持続可能な地域づくりのため、地区社協の活動費の財源確保に努められたい。
2. 要配慮者支援組織のさらなる拡充のために、組織化の啓発に努められたい。
3. 待機児童対策として、保育・幼児施設の柔軟な利活用や改修支援等に努められたい。児童クラブについては、市の役割と責任、民間活力のバランスを図るとともに制度の見直し等を図られたい。また保育士及び児童クラブ指導員の確保と処遇改善に努められたい。
4. DV、虐待、不登校等子どもたちを取り巻く環境については、心理職等の専門職団体との連携を図り、より良い教育と生活環境づくりに努められたい。

【経済・観光関係】

1. 急速に成長するアジアをはじめとする世界の観光需要や、開拓の余地を残す国内の観光需要を取り込めるよう、観光メニューの開発はもとより誘客に注力されたい。また、フリーWi-Fiスポットについて、路面でも容易に接続できるように改善されたい。
2. 松江の観光をPRするにあたり、ペルソナを設定し、事業全体として一貫性を持った施策を展開されたい。
3. 起業やマーケティング等の、質の高いワンストップのコンサルティングを提供できる体制を構築されたい。
4. 企業団地への企業誘致については、近隣市との比較競争に打ち勝つよう立地条件等の見直しをされたい。
5. 関係人口の強化の為にプラットフォームを早期に実現されたい。

6. 松江市の農業といえばコメづくりである。付加価値のあるブランド米生産に向け、関係機関と共に取り組み、販路拡大に努められたい。

【建設・環境関係】

1. ごみ袋やごみの減量化等環境行政に対する市民の理解が深まるよう十分な説明に努められ、更なるリサイクル推進に取り組みたい。またリサイクル都市日本一の政策及び環境市民活動を「SDGs」への活動へと発展させ、新しい環境政策を展開されたい。
2. 都市マスタープランにおける地域の中核を早急に指定され、より具体的な戦略を構築されたい。また市街化区域及び中心市街地の活性化の為、都市再生整備計画を早急に検討され、関係各部署と協議し、中心市街地の活性化および松江の新しいまちづくりを推進されたい。

3. 運転免許証返納等で、これから公共交通機関網がより重要視される。運転手の確保が難しいなかではあるが、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるよう、持続可能な公共交通の在り方に向け早急に取り組まれない。
4. 文化財建築物の修理については、文化庁等の優位な財源の活用を求められたい。文化財を巡るサーキット型の周遊パスの販売等、文化財の利活用にも積極的に取り組まれ、国宝松江城を中心に市内外の人々が松江の歴史と文化に触れ、理解と関心が深まるよう求められたい。
5. 橋梁の老朽化対策、道路維持・修繕事業の充実を図られたい。工事発注の平準化、工事業者については地域性を考慮した発注を求められたい。また、市道の道路管理と特に通学路の環境整備等の充実や、市民が利用する公園の遊具等の整備計画を立て着実に実施されたい。

6. 新庁舎に伴うエリア内の市道路線の計画については、
将来を見据え、早急に取り組まれない。

7. 上下水道事業については、老朽管対策を促進し、管路の
整備については目標を設定し確実に取り組まれない。地
元業者との連携・協力を得る体制づくり、資質の向上を
図られない。

8. 簡易水道との統合に対して、国に対し財政支援を強力に
要請されたい。

以上